

《講座紹介》

社会学原論

久保田 正 雄

この講座は主に19世紀以後の社会学説のなかからその中枢観念が現代社会学に継承されているものを選び、思想・哲学の動向との関連を重視して比較論究している。講義に当って私は特に次のことに留意している。

- ① 特定の立場から各派の社会学説を批判的に論ずるのを避け、できるだけ公平に各学説の長所と特色を内在的に解説することに努める。私はかつて、ジイド・リスト共著「経済学説史」と凝然著「八宗綱要」を読んでから、この方法が可能であり、この態度が大切だと考えている。
- ② 各学説の解説にあたっては学者の人物と生涯、時代的關係をもつ歴史上の出来事、政治情勢と社会環境などにもできるだけ具体的に触れようとしている。学生諸君が理論に向う場合、どこまでも現実に即したフレキシブルな思考を持ってもらいたいからである。